



うたごえの実行委員会が発足！

ヒバクシャ国際署名キャンペーンはじまる

夕張新鉦大災害35周年をしのび
『夕張の花の歌』をうたい
ふるさと夕張の未来を語るつどい

夕張新鉦大災害北 91年にこの曲が生
炭の責任を追及した まれました。

「夕張裁判」闘争を まも、語れば涙こぼ
支援する目的で作況

された『夕張
の花の歌』構
成詩 永井和
子(作詞)の作
曲者が、夕張
の地で、夕張

市民とこの歌
をうたいたい
という強い気
持ちはあり、

8月10日第
一回目の実行
委員会が開催
されました。

夕張新鉦大
災害から、35年目に
あたる10月16日

(日)午後2時から、
清陵町・さわやかホ
ールで歌の集いがあ
ります。

作曲された岡田京
子さんは、統一劇場
の専属作曲家として、
何度か夕張を訪れた
ことがあり、新鉦裁
判闘争を知り、19

年、
策の転換と北炭の
さん安全管理の犠牲

れま
す。悔
しさを
、体震
えま
す。『
』との
、語
りで始
まる「
夕張
の花の
歌」に
千歳・
長沼・
夕張の
人たち
が実行
委員に
なり、
市民へ
の参加
を呼び
かけ
ていま
す。

の専属作曲家として、
何度か夕張を訪れた
ことがあり、新鉦裁
判闘争を知り、19



作曲者の岡田京子さん

になった93名の犠
牲者をしたのび、作曲
者の思いや、地元夕
張の元炭鉦マンの話
などを中心に、歌と
かたりの集いです。

参加料は、500
円の予定で、今その
準備が進められてい
ます。第2回の実行
委員会は、8月30日
(火)午後2時より、

清陵町・夕張厚生企
業組合事務所であり
ます。夕張をテーマ
にした歌も歌います

ので、興味のある人
は、自由に参加でき
ます。」と実行委員会
事務局長の熊谷泰昌
さんが、参加を呼び
かけています。

ヒバクシャ国際署名 8月6日原爆の日 新婦人夕張支部が署名行動

71回目を迎えるこの日、新婦人夕張支部では例年行っている「核廃絶国際署名」を行いました。

今年の取り組みは、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える「核兵器廃絶国際署名」です。

午前10時から11時までの間、さっぽろ生協清陵店前・JA南清水沢店での行動でした。毎年の活動申し入れで各店舗側も、駐車場内での署名行動に協力的です。

「今、ヒロシマの記念式典見てから買い物に来たんです。安倍首相のあいさつには、しらじらさを感じ、本当に腹立たしい！」と怒りを込めて署名する人、「この孫の時代も平和な日本であってほしい。」とお孫さんを抱っこして署名するご婦人も。

参議院選で数の上で勝利した安倍政府ではあるが、町のひとり1人の胸の内は、戦争のない日本と世界を望んでいるのがわかります。



複合施設アトリウムチーム 滝川・富良野方面を視察

市が建設を予定し、貸し出し冊数が急増している複合施設の検討委員会、アトリウムチームが滝川・赤平・東神楽・富良野等の図書館や複合施設を視察し、くまがい桂子市議が参加しました。

滝川では、市庁舎内に図書館を移設し、高齢者から子どもたちまで快適に本に親しめる体制を整え、

乳幼児の小規模保育施設などが配置され、すぐ近くに図書館や幼稚園もあり、地域の高齢者も利用する中で、自然に世代間

交流が生まれ、生まれていました。



くずさんの夕張歴史散歩 (54)

夕張にも火が

これらの風潮は、遠く夕張にも影響します。

一九一七年(大正6年)

4月13日、真谷地炭鉱南一番坑で賃下げ反対の同盟罷業に、次いで同24日、同じ真谷地炭鉱北二番坑

で坑夫と運搬夫64名が賃下げ反対を要求しますが、会社は「賃下げはしない」と回答したので坑夫たちは納得し入坑します。

また、同年6月11日、若鍋砒で朝鮮人坑夫165人が人種差別問題で抗議に入り、翌年にも引き続き大きな事件になりました。(後述)

大正7年7月19日、若鍋砒第三坑(南坑)で採炭・支柱・運搬の坑夫一〇〇名が罷業に入っています。

同じ9月、真谷地砒で三項目の要求を掲げ、340名が同盟罷業に突入します。

こうして大正9年、全国坑夫組合夕張連合会が結成されていきます(前記)。

直後、北上坑の悲惨な事故に抗議する集会と要求行動になります。

ようやく冬の時代の終わりを迎えます。



岩淵 友「国会かけある記」

参議院議員

岩淵 友

「友人の議席」とも力合わせて

8月1日から臨時国会が始まりました。私は経済産業委員会と復興原子力特別委員会の所属になりました。特別委員会は紙智子参院議員と一緒にです。

本会議や委員会に初めて出席をしたのですが、本会議場の隣の席は山形県選挙区から野党統一で当選した舟山康江議員。舟山さんはかつて参議院にいたことがあり、いろいろなことを教えてもらっています。野党統一候補の議席は「友人の議席」と志位委員長が述べていますが、大いに力をあわせていきたいと思っています。

参議院選挙直後に行われた東京都知事選挙。私も応援に行きましたが、参議院選挙では野党共通政策に入らなかった原発問題について、鳥越俊太郎さんが東京から250キロ圏内の原発の廃炉を電力会社社に求めると公約したことは画期的なことだったと思います。野党共闘がどんどん発展しています。

三日には、衆参あわせた国会議員全員での写真撮影がありました。カメラマンが離れないと全体が入りません。みなさんの力でこれだけの議員団にしてくださいました。

党創立94周年記念講演会にあわせて候補者懇親会が行われました。森つねとさん、北海道衆院5区補欠選挙で大奮闘した橋本美香さんと参加しました。候補者のみなさんが感じてきた変化や努力に触れて胸が熱くなりました。みなさんの分も頑張るのはもちろんですが、一緒にがんばりたいと思います。そして次の国政選挙ではさらにたくさんの国会議員を迎えられるように私がんばります。